



全身の健康管理に
3DSリスク低減治療を
～パートナーとご一緒に



歯周病の主症状は**歯ぐきの出血**ですが、
出血する＝血管に傷がついて穴が開いている状態で、
歯周病菌はこの穴から血管に入り全身をめぐる。
神経まで進んだ虫歯も根の先端から細菌が体に侵入します。
これらの悪玉菌は**全身の臓器に悪影響**をおよぼします。

お口の中だけの問題だけでなく全身の健康を守るために**3DS(Dental Drug Delivery System)**
による**リスク低減治療**をおすすめします。

3DSとは、クリーニングで細菌の塊(プラーク)を除去した後にドラッグリテーナー(マウスピース型のクサリの入れ物)を用意し、殺菌効果のあるクサリを入れて数分間歯に装着するだけで、
歯の表面と歯周ポケットに特異的に繁殖する悪玉菌を確実に除菌できる方法です。

また、歯周病は水平感染しますので、パートナーがいる方は、ご一緒に3DSをお奨めします。



コロナウイルスで
ダメージを受けた肺は
やがて、**口腔細菌による
細菌性肺炎に…**



コロナウイルスは肺に感染して増殖し、そこに現れる免疫細胞にも感染します。それにより*)過剰反応した免疫システムは、肺を保護する正常な細胞までも攻撃し始めます。*)サイトカインストーム

そうすると普段は無害な細菌が肺に感染して肺炎を引き起こします。これらは睡眠時の唾液(細菌)の誤嚥によるものです。

このように**ウイルスと細菌のダブルパンチ**で重症化してしまいます。

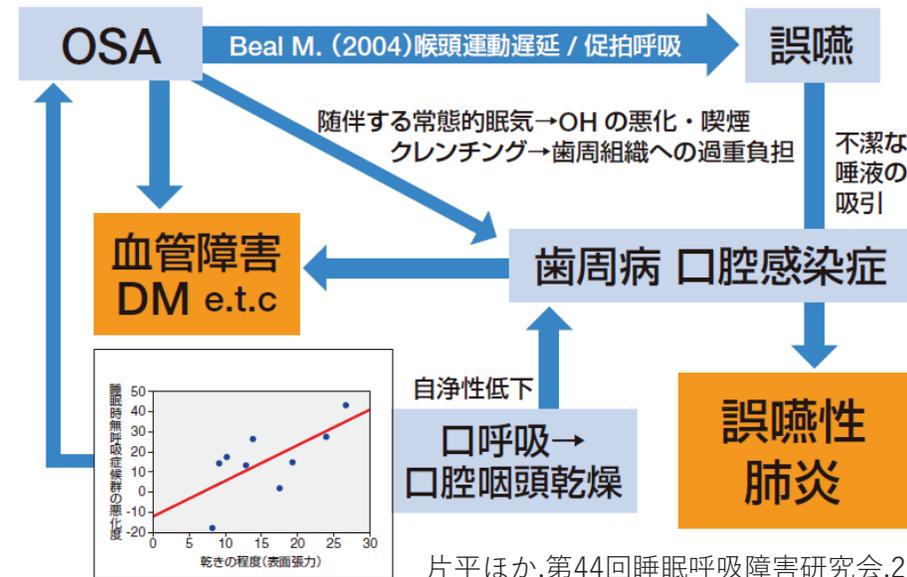
細菌性肺炎の予防に当院の**予防歯科**をご利用ください。

* 詳しくは当院HPの予防歯科 : 歯の健康から全身の健康を守る (歯科発の予防医療) をご覧ください。

睡眠時無呼吸の患者さんに マウスピースと口腔ケアで無呼吸と肺炎の予防を！

睡眠時無呼吸(OSA)患者さんは、睡眠中に誤嚥を起こしやすく*)、日常の口腔ケアを疎かにすると、不潔な唾液の誤嚥により細菌性肺炎になりやすく、更にOSAに伴う睡眠障害が免疫系を弱らせます。

毎日の睡眠中のマウスピースと口腔ケアが、無呼吸や睡眠の改善のみならず肺炎やコロナの重症化予防につながることが期待できます。



当院の[Sleep & Oral Healthcare](#)は全身の健康を守る医療です。

*) Beal M, et al. A pilot study of quantitative aspiration in patients with symptoms of obstructive Sleep apnea: comparison to historic control group. Laryngoscope. 2004; 114(6):965-968.



口腔ケアと 良い睡眠で コロナ予防！



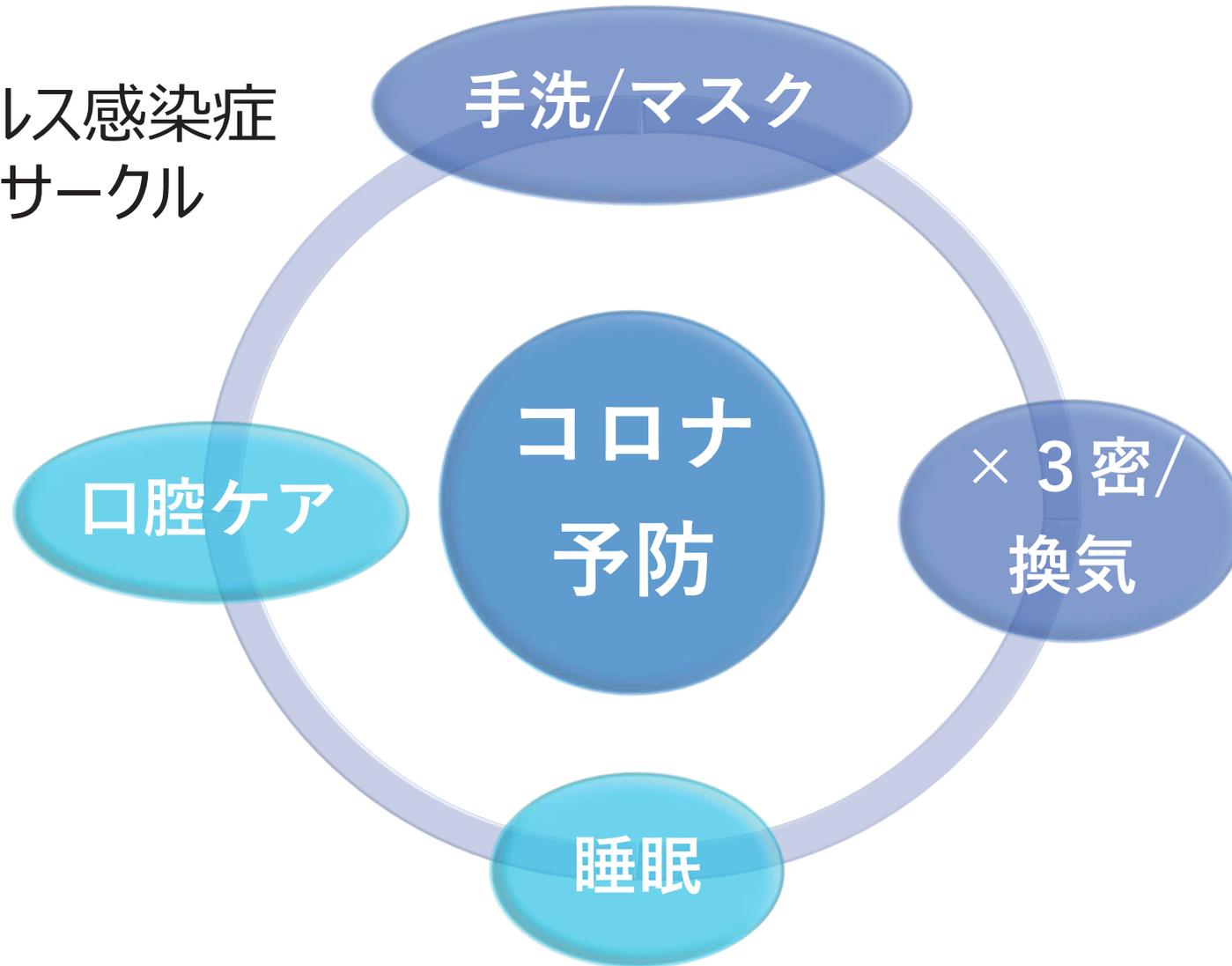
歯周病菌は、コロナウイルスが私たちの体に侵入するのに必要な糖タンパクを活性化させる働きがあるそうです。

また国際オーソモレキュラー医学会が「ビタミンCがコロナ感染を防ぐ可能性がある」と発表したのですが、歯周病菌はビタミンCを消費することがわかっています。

つまり口腔ケアで歯周病菌をコントロールすればコロナ予防が期待でき、また良い睡眠は、睡眠中に細菌やウイルスに対する免疫力を維持・強化します。

当院のコンセプトである [Sleep & Oral Healthcare](#) がコロナ予防にも有効です。

新型コロナウイルス感染症 感染拡大防止サークル



当院では、この感染拡大防止サークルを基盤として患者様のケアを行っております。